

法律学科		教授	小柳 春一郎	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の授業参加意識向上への取り組み	1996年から現在	授業に際しては、レポートの作成を奨励することにより、学生にお客さんとしてではなく自ら参加するという意識を持たせることを努力した。	
2	学生の授業理解度の向上	1996年から現在	映像教材等を積極的に利用することにより、学生が興味を持って授業に参加できるように工夫した。また、フランス法講義においてはフランス法学者の講演を企画した。	
3	授業評価の活用	1996年から現在	授業アンケートにおける評価を真摯に受け止め、授業改善に努力している。具体的に板書の書き方において自分では相当に意識して行い、最近では、パワーポイント等を利用し、見やすいスライドを作成すべく努力している。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	日本法制史・近代法史の教材作成(共著)	2009年3月	『日本の土地法——歴史と現状』(稲本洋之助, 周藤利一と共著)278頁, 成文堂を刊行した。実定法学者(稲本), 法史学者(小柳), 行政実務(周藤, 国土交通省)のコラボレーションにより, 日本の土地法の歴史と現状を明らかにした著書の第2版を刊行して, 近年の諸立法, 判例等に対応すると共に, 全体に読みやすさに配慮した叙述にした。	
2	日本法制史・近代法史の教材作成(共著)	2011年4月	『近代日本司法制度史』の刊行。同書は, 新井勉(法史学者)と蕪山巖(元裁判官)との共著による。裁判実務経験者を執筆陣に入れることで, 現代の問題にも関連した歴史書とした。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1998年11月から継続中		草加市草加西地区土地区画整理審議会委員		
1998年5月から継続中		日本不動産学会学術委員		
2005年6月		学位取得(博士(法学・東京大学))(単著『震災と借地借家——都市災害における賃借人の地位』に対して)		
2006年から継続中		国土交通大臣土地活用モデル大賞審査員(財団法人都市みらい推進機構主催)		
2008年6月～2012年06月		財団法人都市みらい推進機構理事(財団法人都市みらい推進機構主催)		
2009年9月から12月		草加市住居表示整備審議会会長		
2016年10月		草加市住居表示整備審議会会長		
2010年5月から		震災法改正研究会会員(社団法人商事法務研究会, 2010年5月から, 改正法案は, 2012年8月1日より法務省民事局案としてパブリック・コメント)		
2012年5月から2013年5月まで		財団法人不動産適正取引推進機構役員評価委員会委員		
2012年7月19日		独立行政法人国際協力機構平成24年度「紛争影響国におけるガバナンス強化セミナー・日本の司法制度とその実態」講師		
2012年10月28日		司法書士会連合会研修会講師「借地借家法の諸問題」(JA 長野ホール)		

法律学科	教授	小柳 春一郎	大学院の授業担当 有
2013年2月25日	独立行政法人国際協力機構平成24年度「イエメンODA 実施能力強化セミナー・日本の司法制度」講師		
	地籍問題研究会幹事(2016年3月18日まで副代表幹事兼事務局長、同日から代表幹事)		
2013年7月から継続中	一般財団法人不動産適正取引推進機構取引事例研究会委員		
2015年4月～2021年3月	一般財団法人不動産適正取引推進機構役員評価委員会		
2016年4月～2017年3月	一般財団法人土地総合研究所所有・管理研究会委員		
2016年10月から	草加市住居表示整備審議会会長		
2017年3月から	地籍問題研究会代表幹事		
2018年1月から	日本相続学会理事		
<b>その他</b>			
<p>科学研究費助成事業：          基盤研究(C)(研究代表者)「裁判所構成法の立法史的研究」2008年-2010年度          基盤研究(C)(研究代表者)「土地境界の基礎理論——日仏比較法史による貢献」2011年度-2013年度          基盤研究(B)(研究分担者)「民法物権編の全面改正を目指して—フランス物権法改正草案を素材とする包括的検討」          (研究代表者、平野裕之慶應義塾大学法科大学院教授)2011年度-2013年度          基盤研究(C)(研究代表者)「地籍制度の日仏比較法史—地籍と所有権との連携を目指して」2011年度-2013年度          基盤研究(C)(研究代表者)「原子力損害賠償制度立法史の実証的解明：我妻榮・加藤一郎文書の検討」2014年度-2017年度          基盤研究(A)(研究分担者)「財の法」の基礎理論構築と立法論的展開(研究代表者、吉田克己)2014年度-2018年度          基盤研究(C)(研究分担者)「フランス法における「契約締結と平等取扱い」：民法の憲法化の理論的解明」(研究代表者、成嶋隆)          2015年度-2017年度          基盤研究(C)(研究代表者)「フランス法における相続と登記についての研究—所有者不明土地問題の基礎的解」          2019年度-2021年度          基盤研究(A)(研究分担者)「高齢社会・人口減少社会が提示する諸問題への法的対応と「人の法」・「財の法」の展開」          (研究代表者、吉田克己) 2019年度-2024年度</p> <p>受賞：          平成12年度日本不動産学会著作賞受賞(不動産業沿革史(上・下・別巻))(共著)全宅連不動産総合研究所に対して          平成15年度日本不動産学会著作賞受賞(単著『震災と借地借家——都市災害における賃借人の地位』)に対して(2004年5月)</p> <p>表彰：          平成17年度草加市市政功労者表彰(草加西地区土地区画整理審議会委員(土地区画整理法58条3項「学識経験を有する者」としての活動に対して)(2006年2月)</p> <p>コーディネーター：          「所有者不明土地問題」日本相続学会(オンライン開催)2020年11月1日          「空き家問題に対応する土地家屋調査士の現状」地籍問題研究会(オンライン開催)2020年11月14日</p> <p>講演：          「民法・不動産登記法等改正の動向に関する研修」愛知県弁護士会(オンライン開催)2021年3月19日</p>			